

広報



No. 128

昭和59年2月15日

発行・編集 国見町企画課

おもな内容

| | |
|------------------|-----|
| 佐藤元一さんに表彰状…………… | 2 |
| 申告は3月15日までに…………… | 4～5 |
| おしらせ…………… | 6～7 |
| 公民館だより…………… | 8～9 |
| わだい…………… | 10 |



'84
2月

“どうです、うまいでしょう。”

1月29日、仲間づくり教室生は
高湯スキー場で雪あそびを行い、
楽しい一日を過ごしました。

佐藤元一さんに 全日本スキー 連盟から表彰状

佐藤元一さん（小坂字小坂二七
七十九歳）は、全日本スキー連盟
から表彰され、第三十六回昇総合
体育大会スキー競技会開会式の席
上、賞状の伝達が行われました。

佐藤さんは、永年にわたり、全
日本スキー連盟指導員、同じく国
際指導員として活躍され、スキー
の普及に貢献され、その功績が認
められたものです。

県内では、佐藤さんをはじめ、

十二名の方が表彰されましたが、
現在でも現役として活躍されてい
るのは佐藤さん一人です。

佐藤さんは、二十歳のころから
スキーを始め、すでに六十年。現
在でも、市町村共済組合主催のス
キースクール校長として活躍され
また、不忘スキークラブの副会長
も務めています。

「今シーズンも、ホームグラウ
ンドの吾妻高原スキー場をはじめ
二十五日ほどスキーに行きました。
これからも、元氣な限り、スキー
を続けていきます」と佐藤さんは
話してくれました。



▲表彰状を手に佐藤さん

健康教育の 一こま

去る一月二十七日、光明寺公民
館で、熊谷先生を講師として、健
康教室が開催されました。

この事業は、町保健課が老人保
健法のもとに行っている事業の一
つで、四十歳以上の人を対象とし
て、成人病についての知識や予防
などを中心に、健康についての日
常生活の心得や食生活の在り方な
どについて、指導や教育を行って
いるものです。

地区の方々は、積雪の深いなか、
母子保健推進員の方の協力で、二

十七名の方が参加し、熊谷先生の
有意義な中にもユーモラスなお話
と、なごやかなふんい気の中で、
質問や意見など数多く出され、ほ
んとうらやましい健康教室となり
ました。

この事業は、町内開業医の先生
や、公立藤田総合病院の内科の先
生と、じかに話し合えることや、
町保健婦の血圧測定など、健康に
ついて相談できるということです。

今後、住民のみならずの健康
についての自覚と管理を高めてい
ただくため、できる限り各地区を
数多く巡回したいと思っております。

みなさんお気軽に参加していただ
きたいと思っております。



▲熱心に話を聞くみなさん

湯水問題が 全面解決

去る昭和四十七年に、東北新幹
線蔵王トンネル掘削工事の影響で
飲料水や農業用水に使う湧水が枯
れた問題は、国鉄が十一億円をか
け整備した給送水、かんがい施設
の維持を町や地区に移すことで十
二年ぶりに全面解決しました。

その後、施設の維持管理費用に
ついて協議を重ねた結果、二十年
間の電気料金、点検、補修費、減
価償却費などとして町、地元住民
合わせて四億円近くを支払うこと
で合意、この日の調印式となった
ものです。

二月一日、役場で国鉄が今後の
維持管理、補償費用として総額四
億円を支払う旨の協定書が交わさ
れたものです。

式には、佐藤善石工門町長はじ
め町関係者、地元湯水対策委員、
国鉄代表が出席、それぞれ調印し
た協定書を交わし、長年の水騒
動も解決しました。

湯水問題が起ったのは、貝田、
山根、石母田の三地区。トンネル
掘削で、地下の水脈が切断され、
自然湧水が枯渇あるいは極度の
減水となったものです。これによ
り、飲料水やかんがい用水が不足
をきたし、簡易水道百四十戸、井
戸水二十四戸、田畑百六ヘクタール
で、まさに「死活問題」に値す
る被害となりました。

このため、地元や町は、湯水対
策委員会を設置、町議会ともども
国鉄側に対策を迫りました。
四十八、四十九年には、応急策
として、三地区に水を送るポンプ
配管を設けたり、上水道から分
水などの措置がとられました。
さらに、恒久対策として、五十
四年から五十八年にかけて、ざつ



▲協定書に調印する佐藤町長ら

今から四、五年前のことです。ある役職の方(もちろん国見町の人ではありません)が、ある講習会の席上で(約百五十人ぐらゐの人がいたと思います)得意気に、「一億兆位いくら」と言いました。こんな位取りや数え方は全く無いのです。

この人は、数の多くなることを皆に言いたかったのだと思います。それなら、「位い取りや数え方がわからないなら、1の下に〇が二十四つくらい数えふえるのだ」と言えば、ある程度は納得できたと思



数の数え方

佐々木治郎



その人の言うのは、おそらく十籽のことだと思ひます。現在は、兆までしか普段用いないので、その上に、日本の数え方のあることを知らないのではないかと思ひました。

当日出席した人たちの中でも、変な数だと感じた人はおられたと思ひますが、こんな席上で恥をかかせることはない、皆だまって聞いておられたと思ひます。

昭和五十四年六月二十六日の読売新聞に、内山昭生先生(東京理科

大)が、位い取りについて、数の称え方を説明しておられます。これによれば、七十六けたまで数えることが出来るのです。

参考までに書いてみると次のとおりです。

- 一 十百千一十百千一十百千一十百
- 万 億 兆
- 千一十百千一十百千一十百千一十
- 京 垓 秭 穰
- 百千一十百千一十百千一十百千一
- 溝 澗 正 載
- 十百千一十百千
- 極 恒河沙 阿僧祇

那由他 また、一の下の数も、分厘毛だけでなく、十二けたまであることを付け加えたと思ひます。またお知りのことと思ひます。

%パーセント.....100

%パーミル.....1000

%パーミル.....10000

%パーミル.....100000

%パーミル.....1000000

そのほかにも、いろいろな数え方、(光年)(PPM)など、それこそ数多くあることを新聞などによって摺っておく必要があると思ひます。

飢えに苦しむ

アフリカを救おう

救援金受付中

現在、アフリカに進行中の干ばつは、「今世紀最大の干ばつ」と言われ、規模および被害者数は、極めて優越すべき状態にあります。このため、日本赤十字社では、積極的な協力を行うべく、救援金を受け付けることになりました。

日本赤十字福島県支部国見町分區でも、役場に窓口を設け、左記のとおり受け付けを実施いたします。

町民の皆様は温かいご協力をお願いいたします。

記

受付期限 昭和五十九年三月三十一日

受付場所

国見町役場住民課窓口
(日本赤十字福島県支部 国見町分區)

受付種別

金円に限る

町水道課から

水道が凍つたら

その日のうちに

例年になく寒波が続く、水道管の凍結が多発しています。

そのうち出るだろう」と、二日も三日も放棄しておく、管の中の水は、地下埋設管まで凍つてしまいます。そう努力したら、解かすのにたいへんな労力と費用がかかります。その日のうちに解かすのが、なにより肝心です。

まず、スルマ湯で蛇口を解かし、次に立ちあがりの鉄管をゆつくり解かします。それでも出ない場合は、メーターにもスルマ湯をかけます。立ちあがり管は、発泡スチロールなどで保温してあり、下図のような方法で、お湯が入らないときははずしてタオルのようなものを、熱めのお湯に浸し鉄管に巻きます。それでも水が出ないときは、「子どもにとつての豊かさとは」



蛇口をナイフで穴を開ける。発泡スチロールを貼る。

子どもにとつての豊かさとは

「子どもにとつての豊かさとは」の話をテレフォンサービスで

〇四七六一二〇〇〇ヘダイヤルをしますと、三春町電報電話局テレフォンサービスが流れてきます。

今回は「子どもにとつての豊かさとは」の話で、時間は約四分間です。

これは、二月いっぱいいつでもダイヤルすれば聴くことができます。みなさん、ぜひお聴きになってはいかがですか。

3月15日までに

昭和58年分 所得申告相談日程表

| 月 | 日 | 申 告 相 談 対 称 地 区 | |
|---|-----|--------------------|-------------------|
| | | 午 前 の 部 落 | 午 後 の 部 落 |
| 2 | 13月 | 貝 田 北 | 貝 田 南 |
| | 14火 | 高 城 | 光 明 寺 |
| | 15水 | 山 根 | 大 木 戸 |
| | 16木 | 小坂・太田川 | 前田・板橋 |
| | 17金 | 泉田上・泉田中 | 泉田下・鳥取 |
| | 20月 | 確定申告（譲渡・営業業） | 税務署 |
| | 21火 | 内谷西・東 | 山崎北・滝山・上野・石母田東 |
| | 22水 | 石母田表・石母田北 舘町 | 石母田原・石母田西 |
| | 23木 | 確定申告（農業・大木戸地区） | 町 |
| | 24金 | 確定申告（農業・小坂地区） | 町 |
| 3 | 27月 | 町東・宮東・耕谷 | 山崎館・山崎小館・宮前 |
| | 28火 | 源宗山東・西・北・大坂 | 駅前・錦町 |
| | 29水 | 大町南・大町北 | 本町・宮町南 |
| | 1木 | 宮 町 北 | 確定申告 （農業・山崎地区） |
| | 2金 | 確定申告（農業・藤田Ⅱ地区） | 町 |
| | 5月 | 確定申告（農業、その他、藤田Ⅰ地区） | 町 |
| | 6火 | 確定申告（農業・森江野地区） | 町 |
| | 7水 | 確定申告 （森江野・大枝） | 確定申告 （営業・町依頼分） |
| | 8木 | 森江野 第1 | 森江野 第2・第3 |
| | 9金 | 森江野 第4・第5 | 森江野 第6・第7 |
| 月 | 12月 | 森江野 第8・第10 | 森江野 第9・第11 |
| | 13火 | 森江野 第12 | 原町・築館・並柳 |
| | 14水 | 中部・北部 | 川 内 |
| | 15木 | 確定申告一般 | |

☆相談においでの方は、混雑しますので日時をお守りください。

昭和五十八年分所得の、所得税、町県民税、個人事業税の申告の時期となりました。町では、この申告について、みなさんの便宜をはかるため、次のような日程で申告相談所を役場に開設しますので、もれなく申告をするようにしてください。

会場 役場第一会議室（二階）
（東側人口からお入りください）

時間 午前九時～午後四時まで
申告期限 は三月十五日までです。
必ず申告者本人がおいでください。

◎持参するもの
一、送付されている申告書と印鑑
二、生命保険料、生命共済、建物共

済、火災保険料等の払込証明書
三、医療費支払証明書（支払医療費が所得金額の5%または五万円を超える方）
四、譲渡所得のある方は売買契約書
五、申告書および家族の方が日雇、出稼などをしてしている場合は給与証明書
六、水稲、果樹、養蚕などの共済金明細書
七、大農具などを昭和五十八年中に購入された方はその領収書
八、事業（商売など）をしている方は、総仕入、売上、経費などの帳簿
九、還付申告をされる方は、給与所得の源泉徴収票

七、その他、必要と認められる証明書などの書類

※くわしいことは役場税務課におたずねください。
(☎八五二二)一有線四一六三

所得税 町県民税 個人事業税

申告は

所得税の確定申告と 納税は三月十五日まで



正しい所得税の

確定申告を

税金は、国や地方公共団体が活動するためのたいせつな財源であり、どうしても負担しなければならぬ社会共通の経費であるといえます。

所得税の確定申告は、自主的な申告納税制度になっています。

昨年一年間の所得と税額を正確に計算し、正しい申告と納税をされるようにお願いします。

所得税の確定申告は

お早めに

昭和五十八年分の所得税の確定申告は、二月十六日から受付が始まります。申告期限は三月十五日ですが、期限間近になりますとたいへん混雑します。できるだけお早めをお願いします。

確定申告を

しなければならぬ人

次のような人は、所得税の確定申告をしなければなりません。

「事業をしている人、不動産収入のある人、土地や建物を売った人などで、昭和五十八年中の所得金額の合計額が、基礎控除、配偶者控除、扶養控除などの、所得控除の合計額を超える人

ニ、サラリーマンで、給与の年収が一千万円を超える人、給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が二十万円を超える人、二か所以上から給与を受けている人

申告書は自分で

書いてみましょう

税務署から、申告書用紙や「申告書の書きかた」などが送られてくる方は、必ずその申告書用紙で申告してください。

なお、送られていない方は、税務署に申告書用紙や「申告書の書きかた」などが用意してありますので、ご利用ください。

納税は期限内に

確定申告による所得税の納期限は、申告期限と同じ三月十五日までです。期限内に納税を済ませま

しょう。

なお、一度に納められないときは、確定申告で納めることになる税額の二分の一以上を、三月十五日までに納めると、残りの税額は五月三十一日まで延納することができます。ただし、延納期間中は延納する税額に対し、年七・三パーセントの利子税がかかります。

振替納税制度の利用を

所得税の便利な納税の方法として、振替納税の制度があります。この制度を利用すれば、銀行などの預金口座から振替によって納税することができまますから、納税のための手数が少なくて済み、たいへん便利です。ご利用をお勧めします。

還付申告はお早めに

住宅取得控除、医療費控除などについての還付申告は、一月から受け付けています。

還付金の受領は

口座振込みで

口座振込みは、銀行、農協の預金口座へ直接振込まれますのでたいへん便利です。申告書に銀行名、預金の種類、口座番号を正確に記

入してください。

にせ税理士にご注意



確定申告の時期になりますと、税金の申告手続きなどを税理士に依頼する方が多くなりますが、その際には、正規の税理士であるかどうかをよく確かめましょう。納税者に依頼による税務代理、税務書類の作成、税務相談を業とすることは、正規の税理士資格のない人にはできないことになっています。

確定申告の時期には、税務書類の作成など依頼する方が多いことに便乗して、税理士業務を行う資格のない者が、申告書の作成などすることがありますが、このような「にせ税理士」は、法律に違反するだけでなく、納税者に迷惑をかけることが多いので、国税庁、国税局、税務署では、「にせ税理士」に対しては、厳しい態度で臨み、にせ税理士の排除に努めています。「にせ税理士」には十分ご注意ください。

国保に入るとき、やめるときの手続き

「こんなときには必ず届出を」——届出は14日以内に——

国保に入るとき

| | | |
|----------------|--------------|----------------------------|
| 転入してきたとき | 印かん、転出証明書 | 持 参 す る も の |
| 他の健康保険をやめたとき | 印かん、社保課送附書 | |
| 生活保険を受けなくなつたとき | 印かん、保険停止通知書 | |
| 子どもが生まれたとき | 印かん、保険証、母子手帳 | |



国保をやめるとき

| | | |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| 転入してきたとき | 印かん、転出証明書 | 持 参 す る も の |
| 他の健康保険に加入したとき | 印かん、両方の保険証 | |
| 生活保険を受けるとき | 印かん、保険証、保険開始通知書 | |
| 死亡したとき | 印かん、保険証、死亡の証明書 | |

その他のほか

| | | |
|-------------------------|---------------|----------------------------|
| 市区町村内で住所が変わつたとき | 印かん、保険証 | 持 参 す る も の |
| 世帯主が変わつたとき | 印かん、保険証 | |
| 世帯がわかれたり、いっしょになつたとき | 印かん、運転免許証 | |
| 保険証をなくしたとき | 印かん、保険証、在学証明書 | |
| 病手のため、子どもが他の市区町村に下宿するとき | | |

国保



三月末に、国民健康保険被保険者証の検認があります。あなたの家の被保険者証を確認してください。会社などの被保険者証をもっている方が記入されていませんか？記入されていた場合は、早めに届けてください。

交通事故にあつたら——必ず届出を!!

国保で治療を受けられる

交通事故などのように第三者の行為が原因でけがをしたり病気になる場合でも、もちろん国保で治療を受けられます。

必ず国保に届出を

交通事故でけがをしたら警察に届けると同時に必ず国保へも届けてください。届出がないと、あとで国保から加害者に請求できなくなります。

医療費は加害者が負担

交通事故などの場合は、被害者に重大な過失が限り、医療費は加害者が負担すべきものです。国保を使って治療を受けることはできますが、その医療費はあとで国保が加害者に請求して返してもらふことになります。

示談は重要に

第三者の行為によって病気になったりけがをした場合は加害者との示談は慎重に。必ず国保へ届出をすませたと示談を結ぶようにしてください。

国見の地名

こうや しんてん ⑨
耕野・新田 菊池利雄



藤田小学校の北側に、耕野団地（旧山崎村字上耕合、下耕合）がある。かつては水田の広がる農耕地であったが、昭和五十二年国見町では宅地の造成を行って分譲し、現在は家屋が密集する市街地と変つて、昔日の影をほとんどとめていない。

耕野（谷）は開墾地を意味し、戦国時代ころから使われ始めた地名といわれ、特に東北地方に耕野地名の分布が多いといわれている。伊達郡内の村である新田・梁川町や二井田（保原町）も、中世の開発地名で、新田は本村である細谷からの、二井田は周辺のいずれの村かは明らかでないが、阿武隈川の氾濫原上の荒野を切り開いた中世の新田村とみることができ

る。江戸時代以降における、この地域での新開地は普通新田と呼ばれ旧村の森山・泉田・貝田・石母田には、新田・新田山などの地名が

残されており、いずれも本村の集落から遠く離れた山地や村はずれの地に位置している。

山崎村の「地籍図」で耕野の地域を概観すれば、山崎桑里の一野をなしており、開発の歴史は古く奈良から平安時代の初めにさかのぼるとみられるが、西根堰が開きくされる以前には瀧川上流部の川前で堰上げられた堰によって灌漑がなされていたが、水懸りの末端に位置するため、灌漑水が不足して次第に荒地となつて放棄されたが、戦国期になつて再開発がなされ、さらに近世の初めには西根上堰が開きくされて、充分な灌漑水の供給を受けるにおよんで、良田化され最近にいたつたと考えられる。

参考文献

- 地名の語源 鏡味完二・明克
- 地名の研究 柳田国男
- 国見町役場所蔵 旧村地籍図
- 国見町史

善意の窓

町社会福祉協議会に

◆セブンイレブン国見店から
一万三千六百五十九円
(店内釣銭を)

◆松田平治さん(貝田)から
五万円―故ナさんのご遺志

◆佐々木治郎さん(駅前)から
一万円―遺書を託つて

◆吉田進さん(山崎小籠)から
五万円―故美さんのご遺志

◆高橋伊蔵さん(山崎北)から
五万円―故キヨミさんのご遺志

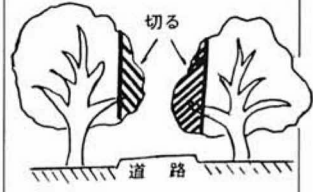
◆富塚三夫氏祝賀実行委員会から
一万三千八百円
祝賀会会費残金

◆富塚三夫氏(衆議院議員)から
十万円

森江野小学校に

◆武田フミさん(第三)から
雑布五十枚

◆酒井和子さん(第十二)から
高ぼうき五本、ちりとり五個、
ぼうき三十五本



道路にはみ出した
枝を切ってください

国道・県道・町道・農林道に、
果樹や開木の枝が繁茂し、見通し
が悪く、危険な箇所がみられます。
道路境界線からはみ出している
部分は伐採をお願いします。

あなたも
「緑の国勢調査」に
参加しませんか



このたび、環境庁自然保護局で
は、自然環境保全基礎調査(動植
物分布調査)を実施することにな
りました。

この調査は、わが国における自
然環境の現況を把握するとともに、
その集計解析を行い、全国的な自

然環境の保全の施策を、推進する
ための基礎資料とするためのもの
で、ボランティアの参加により、
実施しようというものです。

くわしいことは、役場住民課生
活環境係 ☎八五二二(一)に
おたずねください。

朗読奉仕者養成教室
生徒募集



一、募集人員 十名

二、募集期間 三月十五日―三月三十一日

三、募集条件 (一)学生、生徒以外の者とする。

(二)基礎指導 五月から七月まで
実技指導 八月から翌年一月
まで

四、応募方法 住所、氏名、年齢、職業、電
話番号を明記した文書(ハガ
きでも可)で申し込むこと

五、受講生の選考 応募した者について音声テス
トを実施し合格した者

※くわしくは、福島県点字図書館
におたずねください ☎三三(三)☎三三
千九六〇 福島市森合町六一七

昭和五十八年度
福島県個人住宅建設資金
申込受付の
おしらせ



昭和五十八年度(第四回)の申
込受付については、左記の要領で
行います。

一、申込受付期間
二月一日から二月二十九日まで

二、申込者の資格
昭和五十八年度第四回住宅金融
公庫個人向け融資の申込者

三、選定方法
申込者が融資予定戸数を上まっ
た場合は抽選となります

四、融資予定戸数
二百十戸

五、融資予定金額
六億二千四十五万七千円

六、融資内容
(一)利率 年六・四三%
(二)融資金額 二百万円まで
(三)償還期間 十五年以内
(四)償還方法

①元利均等毎月払い
②元利均等六ヶ月払い
③元利均等毎月払いと六ヶ月
払いの併用払い

七、申込先
住宅金融公庫の取扱各金融機関

八、問合せ先
福島県土木部住宅課 ☎三三三三

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)
時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、
お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

【相談員】

- 2月25日(土) 佐久間 巖・朝内 ひで
3月5日(月) 樋口 弘・村上ハツ子
3月15日(木) 菊地 平助・渋谷 愛子



| | |
|------------------|--------------|
| 2月 如月(ささざき) | 3月 弥生(やよい) |
| 15日(水) 福島羽黒神社曉詣 | 1日(木) 全国緑化運動 |
| 17日(金) 満月 | 3日(土) 耳の日 |
| 19日(日) 雨水 | 5日(月) 啓蟄 |
| 26日(日) 青春祭(公民館で) | 7日(水) 消防記念日 |
| 29日(水) 火災予防運動 | 8日(木) 国際婦人デー |

公民館だより

華やかに

二十歳の出発



▲成人者を代表して答辞を読む玉手淳さん

一月十五日、町の成人式が町公民館で行われ、百二十名の新成人者の門出を町を華やかに祝賀しました。



▲町長から成人証書を受ける三の輪尚美さん

国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

式典は、佐藤町長の式辞、成人代表三の輪尚美さんへの成人証書の授与、同じく八島牧子さんへの記念品の贈呈などを経て最後に玉手淳さんの答辞があり厳肅なうちに終了しました。

一方会場は、今年も振り袖姿が目を引き華やかな雰囲気でしたが、高価な装いが逆に没個性的な感じがないでもありません。「親が買う晴着で成人の第一歩」ではないように願いたいものです。

高湯で雪あそび

少年仲間づくり教室



一月二十九日、少年仲間づくり教室生三十五名は、高湯スキー場へ一日雪あそびを楽しみました。当日は公民館を八時二十分にバ

スで出発、途中は吹雪で目的地の天候が心配でしたが到着すると絶好の晴天、後方には雄大な吾妻連峰、前方には福島盆地がはつきり見わたせる中、公民館職員「サークルばけつ」の会員達指導のもと、そりすべりやスキーで雪の中を駆けまわりました。また、雪の中からカードを探し「宝さがしゲーム」では、なかなかみつからず、助けをもうらう子もいました。

「ワイワイ楽しいなあー」
帰りのバスの中で、カードと宝もの？と交換しながら楽しい一日をおえて五時に公民館に到着しました。

おしらせ

◆ 恒例の青年学級主催の「青春祭」を、「燃やせ青春!!」の瞬間にすべてをかけてのテーマのものと開催します。

いろいろな催しものを用意しましたので、みなさまお誘いあわせのうえ、おこしください。

- とき 二月二十六日(日)
- 会費 三〇〇円
- 内容 のど自慢大会
フイリングカップル
6対6、もちつき大会
かくし芸大会
軽食・喫茶コーナー

◆ 移動図書館「あづま号」が下記の日程で巡回し、図書の出貸し各種相談等を行いますのでどうぞご利用ください。

| 月日 | 場 所 | 時 間 |
|-------------|---------------|--------------------------------|
| 3月7日 (水) | 国見町公民館 | 9時30分～10時20分 |
| | 小坂(郵便局) | 10時30分～11時 |
| | 国見電子機 | 11時10分～11時50分 |
| | 国見精機 | 12時～12時30分 |
| | 森江野支所 大枝支所 | 13時40分～14時40分 14時50分～15時50分 |

軽食・喫茶コーナー

高齢者教室

「寿祝」

一月二十日、一月の学習と新年会「寿祝」を恒例により行い長寿を祝福しました。午前中福島市山口、安洞院住職 横山俊邦先生の「宗教心と人生」の講義を聴き学習をしました。

つづいて藤踊会の皆さんによる「千両舞」外七つの舞踊を観賞、昼休みは学級生によるフラクション民謡、今流行の歌などをこやかな一時間をすごしました。

午後、学級生により「寿祝」を行い、藤田委員長のあいさつ、町長・教育長の祝辞があり、つづいて、古稀・喜寿・米寿を迎えた



▲委員長から喜寿祝いを受ける新井さん

三十名一人ひとりに、委員長から賀詞と記念品が手渡されました。今年の教室は二月二十九日閉講となります。

寿祝によせて

委員長 藤田勝衛

一月二十日例年のとおり高齢者教室の寿祝が公民館で開催され古希に相当する方、喜寿に相当する方、米寿に相当する方が祝福されました。この方達は祝福を受ける心と共に、今迄の生涯を振り返って見て感慨無量のものであったと思います。

最近の調査で一人暮らしの老人が百四万六千人になったと報ぜられ、しかもその六割が病気に悩んでいるということがあります。一方核家族化が急速に進んで、全世界で見ただけ夫婦と子供だけの核家族が圧倒的に主流をなしてきており、現在も着実に増加しつつあり六〇・九％に達しているのです。これに対し二世帯同居は減少を続けつつあります。高齢化と核家族化の同時進行によりキがかる状況は今このころ考えられない。欧米がそうであるように遠からず、老人家庭の大半が夫婦だけか、その一方だけの一人暮らしとなる時代が来ると考えなくてはならないと

思います。高齢者教室に通っている人の中には一人暮らしは数名しかいないようで後は殆んど家族と同居して安心して生活しているよう幸せだと思えます。

しかし私達が高齢化社会を口にするとき豊かな成熟社会ではなくともすれば何か重苦しい灰色のイメージで、とらえがらであるようでありませぬ。

人生八十年は目近かにきています。日本は世界一の長寿国です。人生五十年の時代はとうに過ぎ去ってしまいました。これからは人生八十年を目標にして老人問題を考えなければならぬと思います。男は平均寿命が昭和二十二年には五〇・〇六年女は五三・九六年だったのが、今日では男が七四・二二年女は七九・六六年となり世界最高のレベルに達しています。そして国民生活の水準の向上社会補償制度の拡充によって、なほ平均寿命は延びつつあります。

それにしても若い者も老人も、この現実を見極め老人も若い者も安心して生活できるよう今より心掛けが必要でしょう。

高齢者教室は各般に亘って広く勉強を続けています。単なる生きがいのだけの問題ばかりではありません。政治、行政、経済、文化、健康等勉強を続けています。どうか高齢者教室に多数入会して下さい。

寄贈「リボンフラワー」

宮町北 菅野シマさん

菅野シマさんは、リボンフラワー1つくりの趣味を持ち、高齢者教室、趣味の学習の指導を行うなどすばらしい人形・季節の花フラワー1つくりに毎日精を出しておられます。

先日、イコゴタロー（ねこやなぎ）とスイセンをあしらった、すてきなリボンフラワーをお寄せいただきました。公民館は、一足先に春がやってくる来た感じで、訪れる人の目を楽しませてくれます。



▲寄贈されたリボンフラワー

していただき、本当に感謝しています。

あつかし俳句会

寒梅は日向に温し香を贈る
いささかの老の夢あり春隣
通勤の着ぶくれ列車走り出す
開運の湯呑み賜り初薬師
貼り替えて障子明るき福寿草
朝空にひびく半鐘出初め式
さりげなく日脚伸びたることを言ふ
月芽えて樓門の仁王不気味なり
七草の粥に日本の味がする
うたた寝の妻の背丸く掘炬燵
散るよりも萎えて悴しい冬のバラ
凄まじき生きさま川音消えに月
凍てついていつかまじ消えに月
身の動きいよいよにぶし寒半ば

- 奥山 甲二
- 熊田 一陽
- 佐久間 山月
- 小野寺 萬水
- 阿部 亭司
- 阿部 三果樹
- 増田 三果樹
- 佐藤 国樞
- 牧野 武夫
- 斎藤 山水
- 羽賀 昭子
- 高橋 涌水
- 角田 かつ枝
- 中村 かつ枝

戸籍の窓口

(1月受付分)

出生おめでとうございます

| 子の名 | 保護者 | 部 落 |
|-----|---------|-------|
| ひとみ | 阿部 | 三維泉田下 |
| 雄太 | (ゆ た)比金 | 敏春源山北 |
| 光輝 | (ひ か)赤坂 | 功清前取 |
| 一悦 | (か ず)赤坂 | 盛盛原町 |
| 悦子 | (え つ)小林 | 昭善原宮 |
| 忠品 | (た だ)奥山 | 昭善原宮 |
| 幸品 | (こ う)樋口 | 善治具築 |
| 芳勝 | (よ し)大沼 | 高男高 |
| 積美 | (み と)鈴木 | 幸郎 |
| 里美 | (さ と)本田 | |

ご結婚おめでとうございます

| 氏 名 | 部 落 |
|-------|-----|
| 野正弘 | 八市 |
| 石神まつえ | 福島 |

(58年12月受付)

おくやみ申し上げます

| 氏 名 | 年 齢 | 部 落 |
|------|-----|--------|
| 樋口 雄 | 68 | 東東内一 |
| 最上 徳 | 74 | 谷 東東内一 |
| 鈴木 喜 | 81 | 内町川第 |
| 谷津 喜 | 80 | 山崎小 |
| 吉田 正 | 56 | 山崎小 |
| 久間 正 | 59 | 原山崎 |
| 斎藤 一 | 83 | 原山崎 |
| 斎藤 喜 | 86 | 原山崎 |
| 小高 喜 | 69 | 原山崎 |
| 佐藤 永 | 81 | 原山崎 |



▲厳肅に行われた上棟式

勤労者体育センターの上棟式が行われる
森山字上野台に建設中の、勤労



ニホンカモシカ

犬に襲撃される

国の特別天然記念物に指定されているニホンカモシカが、去る一月二十日、三匹の野犬と思われる犬に襲撃され、口や前足などに大ケガをしました。



▲ケガをしたニホンカモシカ

者体育センターの上棟式が、一月十四日、工事現場で行われました。式には、佐藤町長はじめ町関係者、議員、工事関係者ら五十名が出席し、工事の安全を祈りました。この勤労者体育センターは、昨年九月に工事が着工し、今年三月十五日に完成予定で、総工費は八千九百五十万円です。この体育センターが完成すれば、いままでも民体育館の夜間利用が過剰な中で不便をかけたが、ある程度解消されることと思います。

このニホンカモシカは、大人のオスで、例年になく大雪のため、エサを求めて人里近く降りてきたところを、犬に襲撃されたもので、泉田中の吉田保さん方の裏に動けた町教委では、さっそく保護し、大玉村にある鳥獣保護センターに収容しましたが、手当のいかもなく、翌日死亡してしまいました。

近年、ニホンカモシカを山などでよく見かけますが、そっとしておいてください。なお、ケガをしたり、病気がかかっているニホンカモシカを見つけたときは、ニホンカモシカを教育委員会に連絡してください。

ライオンズクラブが

県北中に図書を寄贈

国見ライオンズクラブ(坂東義弘会長)は、一月三十日、県北中に七万円相当の図書を寄贈しました。

生徒の心身の健全な育成を願い、昨年十二月二十九日のだるま市の際、チャリティーパーザーを行ったときの益金を寄贈したものです。坂東会長、山内弘事業委員長、樋口久彌幹事から寄贈をうけた県北中の黒須教頭は「たいへんありがたい」と話しています。



▲坂東会長から黒須教頭に

編集日記

○立春も過ぎたというのに、今年 は例年になく厳しい真冬が続いています。積雪もとけず、生鮮野菜の値上げや暖房費などの増加で、家計にかかる負担はかなりのもの。私たち消費者にとっては、物価の上昇は気になることです。

○ところで、今年も酒類の値上げや国鉄運賃の値上げが予定されており、まさにダブルパンチといったところですが。

○何かとせがらい今日このごろですが、雪どけとともに、家計の春が来るのを待つばかりです。S

人口と世帯

2月1日現在(前月比)1月中のうごき

| | | | |
|-----|--------------|----|-----|
| 男 | 5,905人 (+7) | 転入 | 21人 |
| 女 | 6,236人 (-2) | 転出 | 16人 |
| 計 | 12,141人 (+5) | 出生 | 10人 |
| 世帯数 | 2,867戸 (-1) | 死亡 | 10人 |